

2020年8月20日

新型コロナウイルス肺炎に対する診療のお知らせ

院長 具 英成

当院はこれまで、神戸市東灘区の基幹病院として断らない救急医療を掲げて、日々多数の救急患者さんの受け入れを行っています。ついでには患者さんが“かかりつけ”であるかないかにかかわらず、発熱のある患者さんの受け入れも行っていきます。

現在、新型コロナウイルス肺炎が再び流行期に入っており、感染の可能性がある患者さんが受診し入院することが予想されます。当院では院内感染を防ぐため、発熱や肺炎がある場合は、新型コロナウイルス肺炎を想定して入院前に適宜、コロナ感染の有無を確認する目的で抗原検査やPCR検査を行うこととしています。その結果、感染の可能性があれば疑いの段階で隔離対応を徹底して行います。

また検査で陽性が判明した場合には、保健所と連携し、保健所の指示に従って、速やかに指定医療機関への転院をお願いしています。その際、個別の事例に対しては、保健所からの公表の指示がある場合を除き、患者のプライバシーに配慮する観点から個人情報の公表は行いません。またお問い合わせにも一切お答えはできませんので何卒ご理解くださいますようお願いいたします。

なお当院の職員に新型コロナウイルス肺炎感染が疑われる症状がある場合には、直ちに休職を指示し、感染の有無を確認しています。検査結果が陽性であれば保健所に速やかに報告を行い、その指示に従って院内感染の確認と対応を行ってまいります。その際、感染の拡大を防止する上で救急外来や入院の受け入れを制限する必要がある場合は、保健所との協議を行い迅速に対応してまいります。公表に関しても保健所の指示に従って対応を行ってまいります。ただし個別の事例に関してのお問い合わせにはお答えできませんので、この場合にも何卒ご理解の程をお願いいたします。

以上申し上げた当院の方針については神戸市二次救急病院協議会でも共有しております。これからも神戸市の救急医療に貢献し、皆様にご安心できる最善の医療を提供できるよう尽力してまいりますので、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。